

計画時  
 変更時  
 工事完了時

建築物の名称 (仮称)千代田区神田小川町2丁目計画新築工事

|  |   |
|--|---|
| 建物用途<br>事務所<br>建築物の所在地<br>東京都千代田区神田小川町2丁目6-9,10,11 | 敷地面積<br>142.93 m <sup>2</sup><br>建築面積<br>95.42 m <sup>2</sup><br>延べ面積<br>757.82 m <sup>2</sup> : 計算対象 757.82 m <sup>2</sup><br>階数<br>地上 9 階 地下 0 階<br>構造<br>RC造 |
| 竣工日<br>2027年10月31日                                 |   |

省CO2効果

削減率  
24 %

優良環境建築

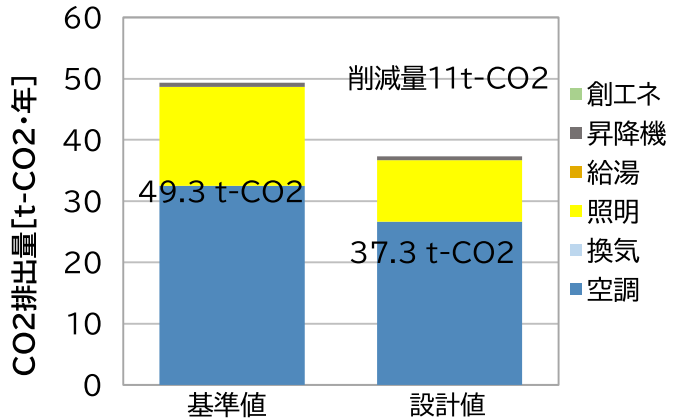


省エネルギー基準

設計一次エネルギー消費量 765.0 [GJ/年]  
 基準一次エネルギー消費量 1,006.6 [GJ/年]  
 BEI(設計値/基準値) 0.76

CO2排出量

設計値 37.4 [t-CO2・年]  
 基準値 49.3 [t-CO2・年]  
 削減量 11 [t-CO2・年]  
 削減率 24 %



省CO2設備手法

- 高効率分散熱源
- 高効率中央熱源
- 高効率空調機(中央熱源)
- 変流量制御(中央熱源)
- 大温度差送水(中央熱源)
- 変風量制御(中央熱源)
- 外気導入量制御
- 外気冷房
- 自然換気(自動制御)
- 全熱交換器
- 高効率電動機
- 送風量制御
- VVVF(回生なし)
- VVVF(回生あり)
- 人感センサ
- 明るさセンサ
- スケジュール制御
- 高効率給湯機
- 自動給湯栓
- 小流量シャワー
- 給湯配管保温
- BEMS
- その他

備考欄

省CO2建築手法

- Low-E複層ガラス
- 複層ガラス
- 庇・ルーバー・バルコニー・ブラインド
- 屋根高断熱化
- 壁高断熱化

面的エネルギー活用

- 地域冷暖房(DHC)の導入
- 地域冷暖房(DHC)の受入
- 熱融通
- 電力融通
- AEMS
- その他

創エネ手法

- 太陽光発電
- コージェネ
- その他

浸水対策

- ハザードマップエリア内
- ソフト面の対策
- 浸水リスクの低い場所への電気設備の設置
- 出入口等における止水板の設置
- その他

未利用・再生可能エネルギー活用

- 下水熱
- 河川水熱
- 地下鉄排熱
- 地中熱
- 太陽熱利用
- その他

環境負荷低減の取り組み

- 緑の量・質の確保、生態系への配慮
- 被覆対策
- 水循環